

今後の中学校給食に関する保護者アンケートについて

1. 概要

- ・温かい中学校給食による全員喫食制への移行に関する保護者ニーズを把握するため、アンケート調査を実施

2. 対象者

- ・市立小中学校に在籍する児童生徒の保護者

3. 実施方法

- ・インターネットを活用した Web 調査
※保護者連絡ツール「すぐーる」を活用して教育委員会事務局より一斉配信

4. 実施期間

- ・令和3年4月下旬～5月上旬（2週間程度）

5. アンケート項目（案）

- ・別紙のとおり

今後の中学校給食に関するアンケートフォーム

中学校給食は、現在、ランチボックス方式で実施していますが、国の衛生管理基準上、ご飯は65度以上、おかずは10度以下で温度管理のうえ提供する必要があることや量の調整ができないという課題があります。そのため、生徒や保護者のニーズを踏まえ、全てのおかずを温かく提供でき、生徒が教室で配膳することで量の調整もできる方法への移行を検討しています。

また、その移行の際は、家庭弁当との併用を改め、生徒全員が同じ給食と一緒に食べる「全員喫食制」とする予定です。

今後の検討の参考とするため、保護者の皆様に下記のとおりアンケート調査を実施しますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

※「すぐーる」にご登録いただいている方に配信しています。ご家庭で代表の方1名がご回答ください。

添付資料1：今後の中学校給食について（PDF：〇〇KB）

添付資料2：今後の中学校給食における基本的な考え方（PDF：〇〇KB）

はじめに1：どちらの地区の学校に通学されていますか？
<input type="radio"/> 東灘区 <input type="radio"/> 灘区 <input type="radio"/> 中央区 <input type="radio"/> 兵庫区 <input type="radio"/> 北区 <input type="radio"/> 長田区 <input type="radio"/> 須磨区 <input type="radio"/> 垂水区 <input type="radio"/> 西区
はじめに2：市立小中学校に在籍中の全てのお子さまの学年を教えてください。
<input type="radio"/> 小学1年生 <input type="radio"/> 小学2年生 <input type="radio"/> 小学3年生 <input type="radio"/> 小学4年生 <input type="radio"/> 小学5年生 <input type="radio"/> 小学6年生 <input type="radio"/> 中学1年生 <input type="radio"/> 中学2年生 <input type="radio"/> 中学3年生
はじめに3：ご家庭の就業状況について教えてください。
<input type="radio"/> フルタイムで共働き <input type="radio"/> フルタイムとパートタイムで共働き <input type="radio"/> 専業主婦（夫）家庭 <input type="radio"/> ひとり親家庭（母子または父子） <input type="radio"/> その他
【利用状況】 中学生の保護者にお聞きします。現在、中学校給食を利用していますか？
<input type="radio"/> 継続して利用している <input type="radio"/> 必要な月だけ利用している <input type="radio"/> 過去に利用していた <input type="radio"/> 一度も利用していない
【給食の提供方法】 現在のランチボックス方式の中学校給食から、全てのおかずを温かく提供でき、量の調整もできる方法に移行することについて、どう思いますか？
<input type="radio"/> とても良い <input type="radio"/> 良い <input type="radio"/> どちらとも言えない <input type="radio"/> あまり良くない <input type="radio"/> 良くない

今後の中学校給食について

<現在の中学校給食>

- ・ランチボックスの給食を事前に申し込んだ生徒に提供



<移行を検討中の中学校給食>

- ・温かい給食を食器に取り分けて、生徒全員に提供



※写真はイメージ

今後の中学校給食における基本的な考え方

教育委員会では、成長期にある中学生に栄養バランスのとれた安全安心な給食を提供することで、食育の推進や心身の健やかな成長を図ることを目的として、平成25年3月22日に「神戸市立中学校給食実施方針」を決定しました。

この方針に基づき、全員喫食を基本とするとともに、家庭弁当を希望する保護者や生徒の意見も踏まえ、家庭弁当の持参も可として、デリバリーランチボックス方式による中学校給食を平成26年11月から順次実施し、平成29年2月から全校で実施しています。

その後、中学校給食に関しては、令和元年度の全生徒及び保護者へのアンケート調査において、生徒・保護者ともに「温かい給食」を希望する意見が最も多く、令和2年度に実施した温かい給食のモデル実施においても、生徒からの好意的な意見が多数でした。

また、同アンケート調査では、「家庭弁当を持参させたい」という保護者の意見は少数となっており、共働き世帯の増加などを背景として、中学校給食の導入時に比べ、「全員喫食制」に対する保護者ニーズも高まっているのではないかと考えられます。

これらのアンケート調査やモデル実施の結果、有識者や保護者等で構成する神戸市学校給食委員会での意見を踏まえ、下記の基本的な考え方をもとに、中学校給食の充実に取り組んでいくこととします。

記

1. 全員喫食について

家庭弁当の持参を可としている現在の運用を改め、栄養バランスに配慮した給食を生徒全員に提供する「全員喫食制」に移行し、食育の一層の推進や家庭弁当の持参にかかる負担軽減を図る。

2. 提供方法について

生徒や保護者のニーズを踏まえ、現在のランチボックス方式を改め、温かい給食の提供や量の調整に対応できる方式に移行する。

3. 実施方式について

1. 2の方向性を踏まえて、安全安心で温かい給食を安定的に提供できることを前提として、費用対効果や効率性などの観点から最適な方式を検討する。

なお、一つの方式に拘らず、学校施設の状況や地域特性なども踏まえたうえで、複数の方式を組み合わせることも含めて柔軟に検討する。

4. 移行時期について

この基本的な考え方をもとに具体的な調査検討に取り組み、令和3年の秋頃までに「全員喫食制への移行に向けた基本方針」を策定し、早期の移行を目指す。